

議会だより

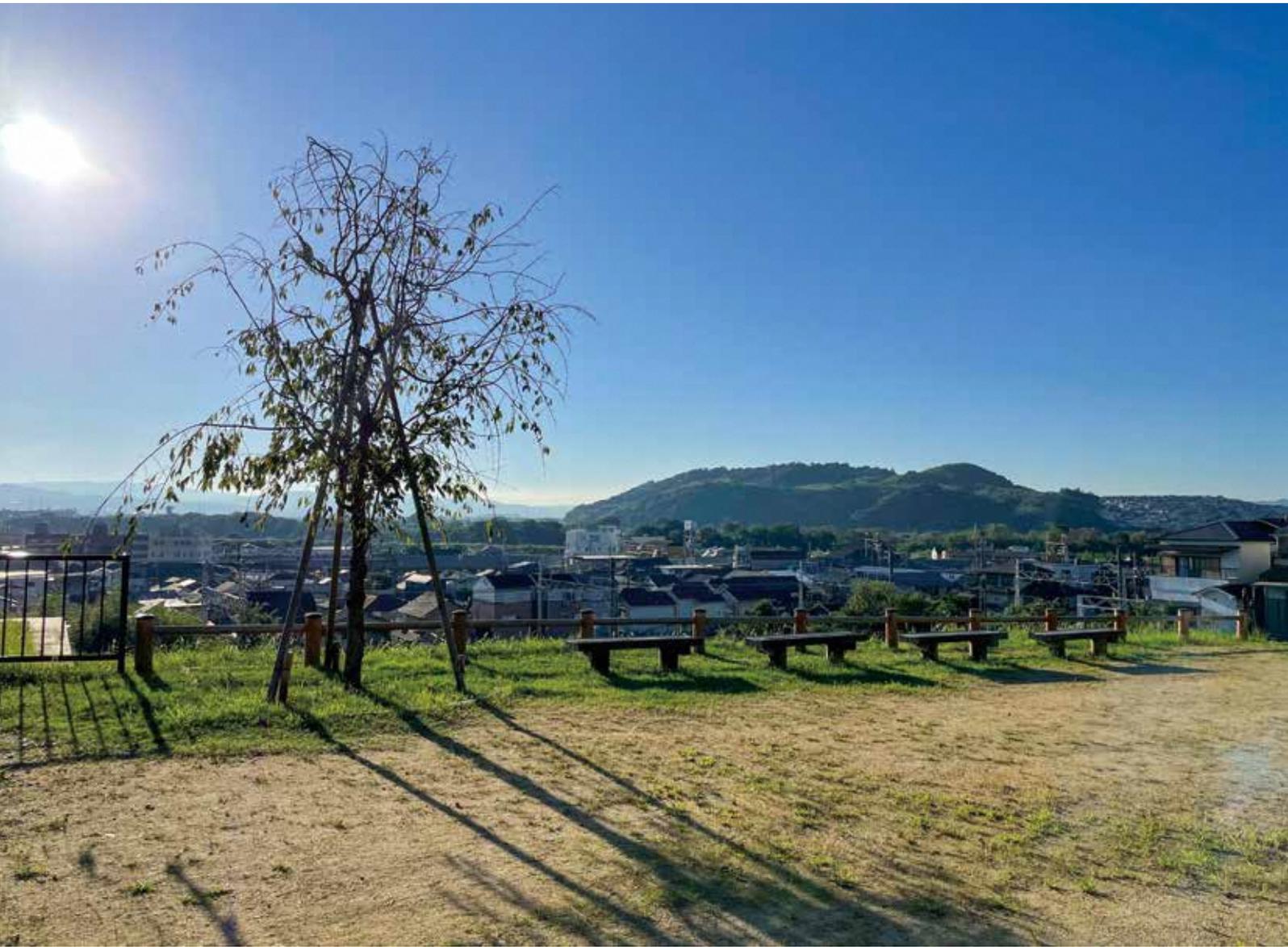
9

2024
September

No109



おおやまざき



史跡大山崎瓦窯跡公園から男山（八幡市）を望む

特集

—これからのまちづくり—

特集

—これからの
まちづくり—



人口減少社会と

大山崎町の将来を考える

人口減少社会を迎え、一部には自治がままならない自治体が生じかねない現状で、本町は幸いにも人口が増加傾向にあります。福祉予算である民生費は20年前と比較して2.3倍になり、予算総額に占める民生費と衛生費の割合は50・4%にもなっています。

限られた財源の中で如何に自治体を維持・運営するか真摯に考えなければならぬ時代になっています。

議会議員が何を思い、どのような将来の大山崎町を創造しているかをどうぞご覧ください。

大山崎町議会議長 北村 吉史



私は考える、
「○○○○○○」が重要である。
そのためには、
○○○○○○すべきである。

*○○○○○○の部分
議員が各自の責任により執筆しています。

朝子 直美



「子どもや女性の意見を反映させること」

子どもの権利やジェンダー平等を求める気運が、若い世代を中心に高まっている。子育て世代が増えている町として、積極的な取り組みが必要である。たとえば「子ども意見箱」「子ども会議」など子どもの意見を聞く仕組みをつくる。町審議会委員などの女性割合を高めるため、その障壁を明確にしひとつひとつ解決していく。気軽にまちづくりについて話せる「まちづくり井戸端会議(仮)」を頻繁に行う。

堀内 古比呂



「住み続けられる大山崎町の為に円団対策」

円明寺が丘団地は築50年を超え、4F建ては、エレベーター未設置や配管の老朽化の課題がある。したがってバリアフリーを行いつつ長寿命化を図るのか、建替えるのか検討が必要で、国や府と連携しながら、町行政の積極的支援が求められる。テラスハウスは、空き家による管理不行き届きなどの課題があり、住宅リフォーム助成制度の創設など、新たな開発でなく今ある住宅を活用すれば、町の魅力の一つである自然を残す事ができる。

辻 真理子



「小さな自治体の強みを発揮すること」

今、町は人口が増え、出生率も高い自治体です。しかし子育て世代では賃金格差、学びの格差、体験格差等、格差が広がっている中、世代間でも「子育て世代」か「高齢者世代」どちらに支援の重きをおくかと議論されることが多い。だからこそ、一番身近な大山崎町が誰でも「困っている。」「しんどい。」に具体的に支援することが必要と考える。そして、程よく繋がりあう町民同士の「やりたい」を実現できるまちづくり。

小畑 孝信



「全世代型の社会保障の中身を充実させること」

未婚の方が結婚しやすい、希望する人は結婚ができやすいような取組みも、チャンスを作る取組みもこれから大事になるだろうと思っています。高齢者の方の認知症、これは基本法ができましたけれども施策をどうするか、基本計画を閣議で今年中に定めるということになっております。これをもっと詳細に磨きをかけて町で実行できるような内容にしていきたいと思えます。



徳本 修司

「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」

1、DX導入により町職員の業務軽減と女性管理職の登用等、町職員の働き方改革。2、ふるさと納税見直しやネーミングライツ等の導入と人口増加により町税を増収。3、水道事業広域化により水道事業サービスの向上と老朽化した水道管のインフラ整備。4、老朽化した円明寺ヶ丘公社4階建ての耐震化や建替への推進。5、子育て支援の更なる充実。6、公共交通以外での公民連携により町内移手段の推進。



西田 光宏

「将来の人口減少対策にはインフラ整備」

将来当町も人口減と高齢化が進むと予想され、現状の社会生活(活力)を維持発展させる為には大胆な施策が必要である。それには建物の建ぺい率・容積率・高さ制限の緩和を行い団地等の居住空間広げる。また高齢者や障がいのある方々への配慮(全公共施設で専用駐車場増設・エレベーター新設)や子育て施策の充実(民間力を利用)・駅前再開発や道路整備等インフラの充実を行い内外に示す事で定住人口増加への戦略とする。



井上 治夫

「年をとってもいつまでも住み続けられること」

年をとって仕事をしなくなり収入も年金だけになると、時間があっても楽しい暮らしはできない。そのためには、①公共交通の整備が大切。免許証がなくても出かけやすい町、出かけることで健康になる。②交流の場が大切。公民館や長寿苑機能が入る複合施設を行きたくするような施設にする。③収入が減っても暮らせることが大切。医療や介護が安く利用できること、水道料金値下げなど住民の暮らし応援をすすめる必要がある。



波多野 庇砂

「当町域の抜本的な現状の諸問題全開公表」

①全町民を護る基本は財源の安定と運用姿勢②誰もが高齢へ引退所得減・納税減・経費増③高齢化納税減対策は新世代の当町への誘致。④令和元年から四年迄50戸～100戸の分譲⑤令和五年で町内の分譲数激減へ。建設地枯渇⑥独立自治体としてあり得ない狭小で不効率⑦令和八年度・その次・税収減カバー案無策⑧特に町域の空間が用途変更で既に枯渇の態⑨資産家の町域外への転出⑩全町民の為に早期に長岡京市大山崎区へ



島 一嘉

「インフラ整備 中でも道路と水路の整備」

まちづくりには道路と雨水排水という項目が基本である、今まで大山崎町では民間開発頼りになっている。これでは地域の連携が出来ず後からの整備は困難である。宅地造成する前に今できる買収などによる拡幅を含めた町道整備。さらに雨水排水の技術は進歩しており道路部分のパイプを活用した水路バイパス化により水路対策も検討できる。このような道路と水路の整備を計画的に実施すべきである。



山中 一成

「サステナブル(持続可能)な まちづくり」

財政見通しが厳しいのでソフト面を充実①様々ものをデジタル化する。大山崎町をデータで全て把握する。②町内会・地域団体・地域企業とともに共創する。③自分の能力を積極的に提供してくれる住民や文化芸術を活用した新たなカルチャー経済圏の創出④大山崎町がプラットフォームになり、多様な価値観を取り込むことで、サステナブルでイノベーションが起きやすい大山崎町にする。



井上 博明

「大山崎町の住民の満足度を高めること」

世代、居住地区等により求める施策は住民それぞれ異なります。その中で優先順位を決め多くの住民の理解と納得を得る施策を立案すべきです。それには立案段階で目的を明確にする、エビデンスに基づいて十分に検討する事、何より実施後の検証が必要です。残念ながら大山崎町では実施出来ていないとは言えません。【子育て支援】【遅れているインフラ整備】【災害対策】等が求められており、議会議員として町行政に提言して参ります。



議長 北村 吉史

人口減少社会では自治体運営は、今後益々厳しくなることが容易に予想される中、また物価高騰など現在の社会情勢の中、議会は如何にして住民の負託に答えるか、如何にして持続可能な形で自治体を運営していくのか、議会として自治体への監視・チェック・提言機能を発揮してまいります。今後とも、ご理解ご支援のほど宜しくお願い致します。

季刊議会

6月議会あらまし (令和6年第2回定例会)

6月4日から6月21日までの18日間にわたり、町長から提出された13件の議案を審議しました。

また、1件の請願と2件の陳情を審議しました。



議決結果はこちらから



会議録はこちらから



修正可決した案件

①特別職（町長）の給与を減額するための条例改正

○修正案①を提出した議員（7人）
井上博明 小畑孝信 徳本修司 波多野底砂 西田光宏 山中一成 島 一嘉

②一般会計補正予算

○修正案②を提出した議員（4人）
井上博明 小畑孝信 徳本修司 波多野底砂

①②ともに
○修正案は 賛成多数により可決

4 対 7

①修正案の内容
町長から提案された給料の減額（月額10%、1か月）の期間を3か月に延長。



②修正案の内容
町道の交通安全施設整備工事費用(2,800万円)を削除。

①②ともに
○修正議決した部分を除く原案（町長からの提案）は 全員賛成により可決

6月議会に提出された請願と陳情

賛否の詳細は、裏表紙をご覧ください。

採択

請願 ケア労働者の持続的な賃上げと人員確保の保障を国に求める意見書提出に関する請願書

採択

陳情 委員会等会議録のインターネット公開を求める陳情書

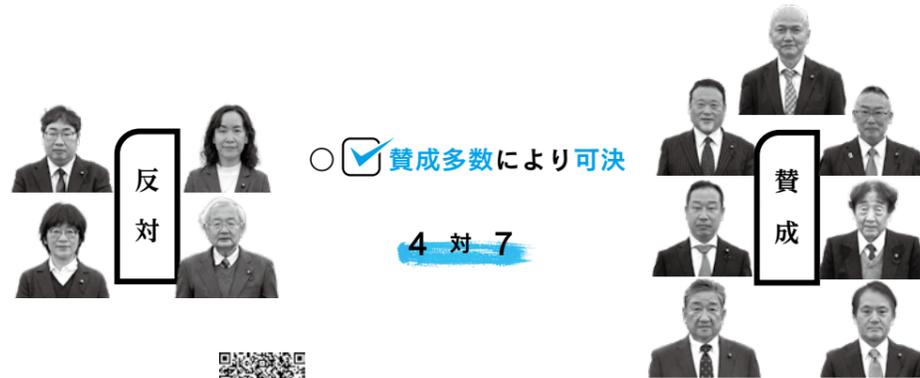
継続審査

陳情 「議会と町民の懇談会」の早期実施を求める陳情書

議会の意思表示

フィリピン共和国ラグナ州ファミリー市長等の来訪に関する決議案

○(提出した議員) 山中一成
(賛成者となった議員) 島 一嘉 波多野底砂 小畑孝信 井上博明 徳本修司 西田光宏



決議の内容はこちらから



この街に この人

任命と選任に同意しました。
よろしくお願ひします

大山崎町教育委員会教育長
みなみ けんたろう さん
南 顕融 さん

大山崎町教育委員会委員
ほった もりと さん
堀田 守人 さん

大山崎町公平委員会委員
えし ま しげお さん
恵嶋 繁雄 さん
こいずみ しょうへい さん
小泉 昇平 さん
うえだ けんじ さん
上田 憲治 さん

9月 議会日程

令和6年第3回定例会日程

日程詳細



| | |
|-----------------|---------------------------------|
| 開会 | 9/2(月) 10:00 |
| 全員協議会 | 9/5(木) 13:30 |
| 議会改革特別委員会 | 9/5(木) 上記終了後 |
| 一般質問 | 9/9(月)・10(火) 10:00 |
| 複合施設特別委員会 | 9/11(水) 10:00 |
| 総務産業常任委員会 | 9/11(水) 13:30 |
| 建設上下水道文教厚生常任委員会 | 9/12(木) 10:00 |
| 予算決算常任委員会 | 9/12(木) 13:30 |
| | 9/13(金)・9/17(火) ~ 9/19(木) 10:00 |
| 広報常任委員会 | 9/24(火) 13:30 |
| 閉会 | 9/25(水) 10:00 |

— 請願・陳情の提出期限 —
定例会開会日の翌日 17:00

提出の方法



ここが聞きたい！

9人が町政を問う。



北村 吉史 議長

6月定例会では、6月11日、12日の2日間にわたり、9人の議員が町政に関して質問しました。

このページは、本会議の一般質問をもとに、議員が各自の責任により執筆しています。

正式記録は、次の方法をご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧いただけます。)

- 冊子で閲覧(閲覧場所：役場1階ロビー・役場3階情報公開窓口・役場4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)
- 町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)



町内道路改修と住民要望の管理は

町：一元管理を検討します



しま かずよし 議員

Q 住民から町への道路改修要望を数多く聞く、住民は緊急な修繕は感謝しているが、進んでいない道路を予算の順番待ちと思っている。この住民に対し要望の結果をどのようにしているのか。

A 応急的な修繕はすみやかに実施している。住民に対して要望があれば回答している。また、修繕の中には国の交付金を有効活用する都市防災事業として、道路側溝の暗渠にあわせた整備や歩道のカラー塗装などを実施している。

Q 住民から様々な声を聞く中で、自分の要望がどうなったのか不安に思われる方が多い。すぐにできなかった要望箇所を一元管理しそれを公表し、住民に漏れがないか確認する手法を取り組まないか。

A 主旨は理解しました。検討してまいります。



町道一号線の拡幅はいつ

中長期財政計画は目指す目標が

町：そうならないように検討する判断材料



いのうえ はるお 議員

他の質問：水道の災害対策2 水源の確保と料金引き下げ

Q 中長期財政計画は、どのような経過で作られましたか。計画は目標数値ですが、財政見直しですか。

A 中長期財政計画は、京都府が実施する財政状況のヒアリング資料で、決算見込みと向こう4年間の計画額を示すものです。現在示している計画は大変厳しい財政状況となっておりますが、そうならないように検討するための判断材料です。

Q 近年の財政計画と実際の決算はどうなっていますか。

A 今の財政状況は5年前と比べると、実質公債費比率が6.5から3.7に低下。将来負担比率は58.2からマイナスの数値となり、財政は大きく改善しています。さらに、自主財源である基金残高は、5年前と比較すると約17億円増えて約23億円となっております。令和5年度決算見込みでは約27億円です。

| 町の財政指標(府下25自治体) | |
|-----------------|-------|
| 財政力指数 | 京都府4位 |
| 実質公債費比率 | 京都府7位 |
| 将来負担比率 | 京都府1位 |
| 経常収支比率 | 京都府6位 |

(令和4年度決算に基づく)
町財政指標は京都府下トップクラス

前川町長の政治姿勢について



はたの ひさご 議員

Q ①抵抗勢力打破 顔写真看板を実家に設置 ○町長本人の議会対応はどうでもいい形。②町財政の各指標の状況 実態と町長公約と思いつき施策の乖離・違和感とは、町民負担となるものばかりで将来の町財政圧迫となる。③前川共産町長の公約は、十四歳迄の給食無償とは、全町民の負担が実質であるが説明せず。

A ①自分自身を鼓舞するもの。②基金貯金を取り崩しによって財源確保が課題となる。一方国の施策を待つべき意見もある。③前川共産町政の給食無償は、全町民の負担。説明責任を課すべきについて。教育長から答弁。教育長答弁・様々な意見を踏まえ研究。



中学校給食

町：厳しい財政を踏まえて実施を考える

高齢者施策とケアラー支援問題

他の質問：町の内水氾濫問題・山小教室の雨漏り問題

にしだ てるひろ 議員



共に支え合うまちづくり

Q まちづくりにおいて、今後当町でも将来の推計人口は減少が見込まれている。そこで高齢者といわれる65歳を超える方々の活躍に期待をするが、生涯にわたって健やかに暮らせる高齢者施策の現状と課題を問う。

A 健康なまちづくりとして、高齢者の運動教室を企画している。町財政に与える影響が大きい社会保障関連費の増高についてはその厳しさを踏まえた上で実施していきたい。

Q ケアラー問題の中でも、特に子どもの負担が大きいとされるヤングケアラー問題についての現状と対策を問う。

A ヤングケアラーの場合はデリケートな家庭問題が含まれ、表面化し難く実態把握が困難だ。町は既存の取り組みの中で相談支援を行っており、児相や学校など関係機関と情報を共有し支援に取り組みたい。

町：改修計画は持ち合わせていない

観光トイレの現状について

他の質問：JR山崎駅開業150周年記念事業について

いのうえ ひろあき 議員



山崎聖天桜の広場観光トイレ

Q 「天王山にバイオトイレをつくる会」の寄付金はバイオトイレ設置のための特定寄付金として受取ったものではないと過去に答弁された。よって観光トイレの改修に活用出来るのではないか。

A 寄付団体の思いを充分尊重したい。他に活用することは考えていない。

Q 尊重すると言うのなら、寄付を受け付けるまでになぜバイオトイレ設置の為に態勢を整えなかったのか。天王山は風致地区、京都府の承認が必要でトイレの設置場所も決まっていなかった。今なお、運搬設置、電気設備工事、設置後の管理運営費用等が正確にコスト計算出来ない。行政側の受け入れ態勢が出来てから寄付を受ければ良かったのではないのか。

A コスト計算等議会に提示して理解を得たい。



やまなか いっせい 議員 山中 一成

財政について

町：憂慮している

Q 今後予定している大型ハード事業の内容と概算金額、その財源を問う。

A 保育所3園の長寿命化改修10年間で約6億円、小学校の長寿命化改修が10年間で約25億円、町体育館の保全計画では10年間で約2億3千万円、道路は4年間で約1億6千万円、複合施設総事業費が24億円、埋蔵文化財収蔵庫が現在、設計業務を進めている。

Q その他の老朽化公共施設の維持管理、更新費用の見込みを問う。

A 老朽化公共施設の維持管理、更新費用は、約40年間で約369億9,000万円となり、年間平均は約9億2,000万円と試算している。

Q 今後の財政の見通しについて、どのように考えているのか。

A 将来の財政運営については、率直に申し上げて憂慮している。



大山崎町議会本会議場

町：屋上防水工事の見積りを進めている

大山崎小学校雨漏り対策について



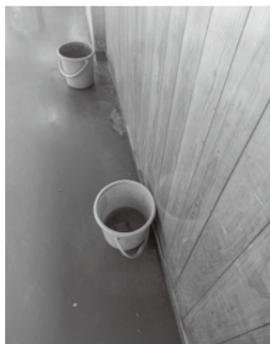
つじ まりこ 議員 辻 真理子

Q 大山崎町学校施設の環境整備について。大山崎小学校では今年度も雨漏りが確認されている。これまでも一時的な補修は行われているが、抜本的な対策が必要と考えるが今後の対策を問う。

A 一部の屋上防水工事は実施しているが、現在特に北校舎の複数箇所が雨漏りが発生している。屋上防水工事に向けた見積もり等を進め、早期に補正予算の提案を考えている。

Q 近年児童生徒数が予測より増加している。大山崎小学校、第2大山崎小学校、そして大山崎中学校の教室が不足すると考えるが、改築や改修整備等の計画や対策を問う。

A 令和6年度小学1学年は昨年度から2クラス増となっている。今後5年間の児童生徒数の推移し、特別教室を普通教室に転用することを予定しクラス数の増加に対応する。



子ども達に安全安心の学びの場を

町：持続的発展が可能な町づくりを進める

町の将来ビジョンについて問う



ほりうち ひろ 議員 堀内 古比呂

Q 夕張市の破綻を契機に議論が加速し、財政健全化法が定められ、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標で財政をチェックする事になったと思うが、いかがか。

A 議員認識のとおり、早期健全化や再生のための「健全化判断比率」という4指標が具体化された。本町は現状、健全化判断比率の4指標いずれも基準を下回っており、健全性が保たれている。

Q さらなる町の活性化について、どのようなビジョンを持っているか。

A この間、高校卒業までの医療費助成制度拡充、保育所持機児ゼロの継続、自校方式による中学校給食の開始、両小学校の給食棟改修など、子育てしやすい環境の醸成に努めてきた。若年層を中心に人口増加傾向にあるこの機に、さらに支援を充実させたい。

町：財政状況は健全に推移している

| 状況を表す各指標の推移 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | 早期健全化基準 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1.実質赤字比率 | - | - | - | - | - | 15.0% |
| 2.連結実質赤字比率 | - | - | - | - | - | 20.0% |
| 3.実質公債費比率(3年平均) | 5.6% | 5.0% | 3.7% | 3.9% | 3.7% | 25.0% |
| 4.将来負担比率 | 23.3% | 9.7% | 7.3% | - | - | 350.0% |
| 5.財政力指数(3年平均) | 0.792 | 0.794 | 0.798 | 0.769 | 0.764 | - |
| 6.実質収支比率 | 4.4% | 4.2% | 3.2% | 2.8% | 2.4% | 9% |
| 7.経常収支比率 | 94.9% | 95.9% | 96.6% | 95.8% | 97.9% | - |



ジェンダー平等のまちにむけて

町：男女共同参画計画を推進していきたい

あさこ なおみ 議員 朝子 直美

他の質問：公共交通整備、子ども医療費完全無料の実施



ジェンダーの視点で日常を見直そう

Q 婚姻届けの「婚姻後の夫婦の氏」の欄について「夫」を選択する記載例となっている。見直しを検討すべきでは。

A 本町の記載例は、夫の氏を選択する届出人が多い現状を踏まえてのものと考えている。一方、ここに「無意識のジェンダーバイアス」があるのではとの観点から、見直しを実施した自治体があることも聞き及んでいる。こうした例は他の届け出や申請においても考えられる。全庁的に多様な事例を共有し計画を推進していきたい。

Q 同性カップルから希望があれば、住民票の続柄について、事実婚の異性カップルと同様「夫／妻(未婚)」とできるようにしてはどうか。

A こうした対応については、現在、総務省において検討中である。関係課とも情報共有していきたい。

政務活動費(議員の活動費)の用途を公表

- 政務活動費は、議員の調査研究等の活動のために必要な経費として、町から交付されます。
- 議員一人あたり月額5,000円が、所属する会派へ交付されます。

政務活動費の用途は毎年公表しています。

過去の用途は、こちらから



○令和5年度政務活動費の支出状況

(令和5年4月～令和6年3月)

(単位：円)

| 会派名 | 大山崎クラブ | 日本共産党議員団 | 安心 | 公明党 | 是々非々の会 | 保守・本流のぞみ | れんこう大山崎 | 合計 |
|--------|----------|----------|---------|--------|--------|----------|---------|---------|
| 会派人数 | 4(3)人 | 4人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 12人 |
| 当年度交付額 | 220,000 | 240,000 | 20,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 720,000 |
| 経費 | 調査研究費 | | | 16,940 | | 3,020 | | 19,960 |
| | 研修費 | | 50,110 | | 8,665 | | | 58,775 |
| | 広報・広聴費 | | 150,894 | 7,018 | | 60,000 | 56,980 | 274,892 |
| | 要請陳情等活動費 | | | | | | | 0 |
| | 会議費 | | | | | | | 0 |
| | 資料作成費 | | | | | | | 0 |
| | 資料購入費 | | 38,562 | | | | | 38,562 |
| 事務費 | | | | | | | 0 | |
| 人件費 | | | | | | | 0 | |
| 合計 | 0 | 239,566 | 7,018 | 25,605 | 60,000 | 60,000 | 0 | 392,189 |
| 返還額 | 220,000 | 434 | 12,982 | 34,395 | 0 | 0 | 60,000 | 327,811 |

※大山崎クラブは、令和5年11月まで4人。安心は、令和5年12月から交付。

令和6年第2回定例会 表決の結果(賛否が分かれた案件)

※○は賛成 ×は反対 を表しています。※討論は、賛成もしくは反対の意見を述べた場合に記載しています。

| 議案番号 | 議案名 | 議長 | 日本共産党議員団 | 大山崎クラブ | 安心 | 公明党 | 是々非々の会 | 保守・本流のぞみ | れんごう大山崎 |
|-------------|---|----------|----------|--------|----------|-------|--------|----------|----------|
| | | 北村 吉史 | 朝子 直美 | 堀内 古比呂 | 西田 光宏 | 小畑 孝信 | 井上 博明 | 波多野 庇砂 | 徳本 修司 |
| 第37号 議案 | 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について ※可決した修正案の部分を除く 原案の賛否 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出 議案 第2号 | 第37号議案特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例に対する修正動議 ※議員が提出した修正案 | × 原案○ 討論 | × | × | ○ 原案× 討論 | ○ 討論 | ○ | ○ 討論 | ○ 原案× 討論 |
| 第39号 議案 | 令和6年度大山崎町一般会計補正予算(第1号) ※可決した修正案の部分を除く 原案の賛否 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出 議案 第3号 | 第39号議案 令和6年度大山崎町一般会計補正予算(第1号)に対する修正動議 ※議員が提出した修正案 | × | × 原案○ 討論 | × | ○ 原案× 討論 | ○ 討論 | ○ | ○ 原案× 討論 | ○ |
| 第40号 議案 | 令和6年度大山崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | × | × | × | ○ 討論 | ○ 討論 | ○ | ○ | ○ |
| 第44号 議案 | 大山崎町教育委員会教育長の任命について | ○ | ○ | ○ | 保留 × 討論 | ○ | ○ 討論 | 保留 × 討論 | ○ |
| 請願 第1号 | ケア労働者の持続的な質上げと人員確保の保障を国に求める意見書提出に関する請願書 | ○ | ○ | ○ | × 討論 | × | × | × 討論 | ○ |
| 陳情 第4号 | 委員会等会議録のインターネット公開を求める陳情書 | ○ | ○ | ○ 討論 | × | ○ | ○ 討論 | × 討論 | ○ |
| 決議案 第1号 | フィリピン共和国ラグナ州ファミー市長等の来訪に関する決議案 | × 討論 | × | × | ○ | ○ 討論 | ○ | ○ | ○ |

※議長は、議員として表決に加わりません。
(可否が同数の場合は、議長が裁決します。)

※保留は、賛成・反対を表明せず、議場から退席(採決に加わっていません。)

- 表決 議員が各自の賛成、反対の意思表示をすること。
- 討論 会議(本会議)での表決の前に、議題となっている案件に対して、賛成か反対かの自分の意見を表明すること。なお、自分の意見を表明するだけでなく、意見の異なる議員を賛同させるようにする目的があります。

討論の内容は、会議録でご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧いただけます。)

○冊子で閲覧(閲覧場所:役場 1階ロビー・役場 3階情報公開窓口・役場 4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)

○町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)

